

2020年11月24日



キリスト教センター 通信 Vol.24

激励メッセージリレー



タイトル 『12月26日』

キリスト教センター 藤倉 哲哉 センター長

海外ではクリスマスは伝統的に、近くの教会で12月24日と25日にキリストの降誕を祝って礼拝を献げ、家族や友人とともに食事を楽しむなどして過ごす。観光地や大都市以外は商店もレストランも休業し、バスや電車なども特別ダイヤの限定運行だ。

また、日本では新年モードに切り替わるクリスマス翌日の26日は”Boxing Day”で、欧米では3連休になることがある。この日は、裕福な家庭でいつも主人一家の生活を支える料理人や家政婦などの使用人に、感謝の気持ちを込めてプレゼントや小遣いを渡して休暇を与える、教会が食事や寄付されたものを貧しい人たちに配る、ピザや郵便の配達員・アパートのドアマンなどに心付けや、ささやかなプレゼントを渡すという習慣がある。

クリスマスはあたたかい、うれしい、やさしいのだが、さまざまな困難のために家族や友人など身近な人と過ごしたくてもかなわないことがあるかも知れない。それどころではないと働き続けなければならない人もいるだろう。

Boxing Dayは言わば「お裾分け」の日だ。家族や友人と楽しむだけでなく、困難のなかにある知らない誰か、遠くの誰かを思うことも忘れないようにしたい。

キリスト教 一口メモ 「クリスマス① ～アドベント～」

最近よく聞きますか? 「アドベント」。クリスマスの準備のための約4週間の期間のことを指します。日本でも最近では12月1日から25日まで毎日楽しめるアドベントカレンダーがお菓子メーカー、雑貨屋、アパレル、コスメなど色々なショップから販売され、少しずつ認知されてきました。

他にも「シュトーレン」というドイツ発祥のお菓子を食ったり、4~5本のろうそくに毎週一本ずつ火を灯す海外の習慣が知られつつあります。毎年、何か特別な感じのする「クリスマス」。

皆さんは今年の色んな意味で特別なクリスマスのためにどんな準備をしますか?

新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまのみ心になつた正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまのみ名によっておささげいたします。アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。また、医師と看護する者たちを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン

昼の礼拝にぜひお越しください！

新型コロナウイルスの影響で休止していた、昼の礼拝を

10月20日（火）から再開いたしました。

昼の礼拝詳細

毎週火曜日と金曜日

12時 45分～12時 55分

キリスト教センター玄関エントランスに於いて。

内容：お祈り、聖書、メッセージ。

感染症対策のため、マスクの着用をお願いいたします。礼拝に出席したことの無い方でも、大歓迎です。皆さまのご参加を心からお待ちしております。

神戸国際大学

キリスト教センターの

HPリンクはこちらまで

